

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 守末学園
仙台ヘアメイク専門学校

平成 29 年度 学校関係者評価について

学校法人守末学園仙台ヘアメイク専門学校は、平成 11 年の開校から昼間・通信の両課程を合わせて約 3000 名の卒業生を美容業界に輩出しました。この間、業界と美容を志す人々を結びつけ、双方にとって有益となるよう、教育内容の改善を図り、現場から必要とされる人材の育成に努めてまいりました。

本校では、職業実践専門課程の指定を受けており、より良い学校運営を実施することを目指して、学校評価に取り組みました。

学校自己評価を基に、学校関係者評価を学校関係者評価委員会にお諮りし、貴重なご意見やご指導をいただきました。誠にありがとうございました。

今後とも、教育の質の向上にこの評価の結果を生かしてまいります。

1 学校関係者評価委員会

(1) 学校関係者評価委員

扇 功 氏 藤倉設備工業株式会社 取締役会長(委員長)
石 山 敬 貴 氏 東北大学・大学院農学研究科 産学官連携研究員(副委員長)
守 末 佳 奈 氏 株式会社紀生 取締役ブライダル事業部長
高 橋 隆 義 氏 株式会社ビューティソフト開発 仙台支店長

(2) 事務局(自己評価委員会)

①守 末 紀 生 理事長・校長、②守 末 な み 副校長、③倉 橋 浩 志 事務長
④相ノ山 祐 子 教務部長、⑤板 橋 智 子 ビューティービジネス科長

2 対象期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

3 実施方法、公表

- (1) 校内の「自己評価委員会」で「平成 29 年度 学校自己評価報告書」を作成しました。
- (2) 学校関係者評価委員会を開催し、委員に「平成 29 年度 学校自己評価報告書」を配布し、事務局より説明し、学校関係者評価委員からご意見をいただきました。
- (3) (3)を「平成平成 29 年度 学校関係者評価報告書」としてまとめました。
- (4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

4 評価項目に対する評価

評価項目別に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の4段階で表します。

段階	4	3	2	1
評価	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切

評価項目1 教育理念・目標〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価： 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

- (1) 教育理念に目的と育成人材像も記載されていて明確である。
- (2) 社会の変化に対応した将来構想の策定は、学校の存続に係る重要事項である。
- (3) 連携企業(K I S E I)との連携により、実習課目に反映され、活性化されてきている。

評価項目2 学校運営〔評価：3(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価： 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

- (1) 少子化は雇用面にも影響している。人材の採用と育成は多くの企業の課題である。
- (2) 情報システムのメンテナンスは、費用対効果を勘案しつつ、計画的に行う必要がある。
 - ① 学籍関係の書類作成について、現在のシステムでは不足がある(成績・出席関係等)。
 - ② ソフトウェア操作の慣熟度に差が生じ、ソフトウェアの入れ替えの必要がある。
- (3) 学内組織図(校務分掌表)はあるが、上意下達と下意上達の情報伝達に滞りの発生はないか。
 - ① 担当者の当事者意識の向上を図る。
 - ② 災害を想定し、防災への意識付けを高め、組織運営に努める。

評価項目3 教育活動〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価： 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

- (1) 厚生労働省と文部科学省の双方のルールに則した運営を継続することが重要である。
- (2) 習熟度が不足する学生に対する指導法の改善を要する。
- (3) 連携する企業との協力関係を継続することが重要である。
- (4) 教職員のスキルアップを目指し、学校内外の必要と判断される研修に参加する。

評価項目4 学修成果〔評価：3(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価： 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

- (1) 美容師国家試験合格率100%達成は、学生と就職先企業双方にとって有益である。
- (2) 退学率の低減は、学生・保護者・学校の三者にとって有益であるから、早目の対応をお願いしたい。
- (3) 卒業生の組織化を進める方策の検討をお奨めする。
 - ① 卒業生の動向調査が必要(3年以内の離職率(転・退職の把握))
進路指導部がアンケート用紙等を本人及び就職先へ送付し、集約する。

評価項目5 学生支援〔評価：3(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価：4・**3**・2・1】

- (1) 心身両面の健康管理をサポートするには、それなりの投資が必要になる。教職員スタッフが、個々の学生に目を配り、早目の対応を心がけてほしい。
- (2) 高校との連携は、出張授業を実施する場合、本校学生の授業実施に支障を来さない範囲で、社会貢献にも配慮しつつ可能な範囲での対応でよい。
- (3) 宮城県内外の公共交通機関を利用した通学に困難な地域に自宅のある学生を対象とした住宅補助制度や学生技術大会等出場者への経費補助を行っており、就学支援としては十分である。

評価項目6 教育環境〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価：**4**・3・2・1】

- (1) 連携企業との良好な関係により、実力を身に付け外部とのインターンシップのを充実させつつある。

評価項目7 学生の受け入れ募集〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価：**4**・3・2・1】

- (1) 今後も適正(高校訪問,インターネットメディア活用,ガイダンス,TVCM等)な募集活動を続けることを望みます。
- (2) 卒業生の国家試験合格率や就職率等の数字を見ると、学納金は妥当な額と思います。

評価項目8 財務〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価：**4**・3・2・1】

- (1) 財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も財務基盤の安定のために、少子化を前提に、支出に注意し、メリハリのある予算編成・執行を続けて下さい。
- (2) 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開が実行されており、今後も継続して下さい。

評価項目9 法令等の遵守〔評価：4(平成28年度掲載数値)〕

【平成29年度評価：**4**・3・2・1】

- (1) 法令等の遵守と個人情報の保護については、適切に周知され、遵守されており、今後も継続して下さい。
- (2) 自己評価の結果についても適切に公開されており、明らかとなった問題点を改善することは、学校運営を改善することにもなりますので、今後も継続して下さい。